

2025年4月15日

3大疾病サポート保険（団体型）



取扱範囲の拡大および支払事由の改定

～がんに罹患したことのある方も申し込み可能に！

1人でも多くの従業員の方が安心して治療と仕事を両立できるようサポートします～

第一生命保険株式会社（代表取締役社長：隅野 俊亮、以下「当社」）は、「治療と仕事の両立」支援を強化するため、3大疾病サポート保険（団体型）を**2025年7月から一部改定します。本改定では、がんに罹患したことのある従業員の方も申し込みが可能になり、過去に診断確定された「がん」と因果関係のない「がん」をお支払いの対象に追加します。**

<3大疾病サポート保険とは>

3大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中）等の治療から復職後まで、従業員も企業も健康経営も手厚くサポートする保険です。

3大疾病サポート保険（団体型）改定のポイント

ポイント① 「がんの罹患歴」について告知不要となります。

ポイント② 過去に診断確定された「がん」と因果関係のない「がん」をお支払い対象に追加します。

（注）責任開始の日からその日を含めて90日以内に診断確定された場合など、お支払いの対象にならない場合があります。

改定時期 2025年7月1日（現在ご契約中の企業（団体）も2025年7月1日より適用）

改定対象 全員加入型：企業（団体）が保険料を負担し、所属員全員を加入対象とする契約タイプ

<背景>

3大疾病の一つであるがんは、近年では総患者数のうち3人に1人が現役世代です。（※）そのため、医療技術の進歩や職場を取り巻く環境変化を背景に、治療をしながら仕事を継続したいというニーズが高まっています。加えて、企業（団体）においてがん罹患等によって従業員が退職せざるを得ない状況にならないよう「治療と仕事の両立」、「長期療養からの職場復帰・就労継続」が人材確保の観点で切実な課題です。

<がん罹患リスク>

（※）総患者数に占める20歳～64歳の割合



出典：厚生労働省「令和2年 患者調査」

総患者数のうち、「がん」罹患は3人に1人が現役世代（20歳～64歳）です。

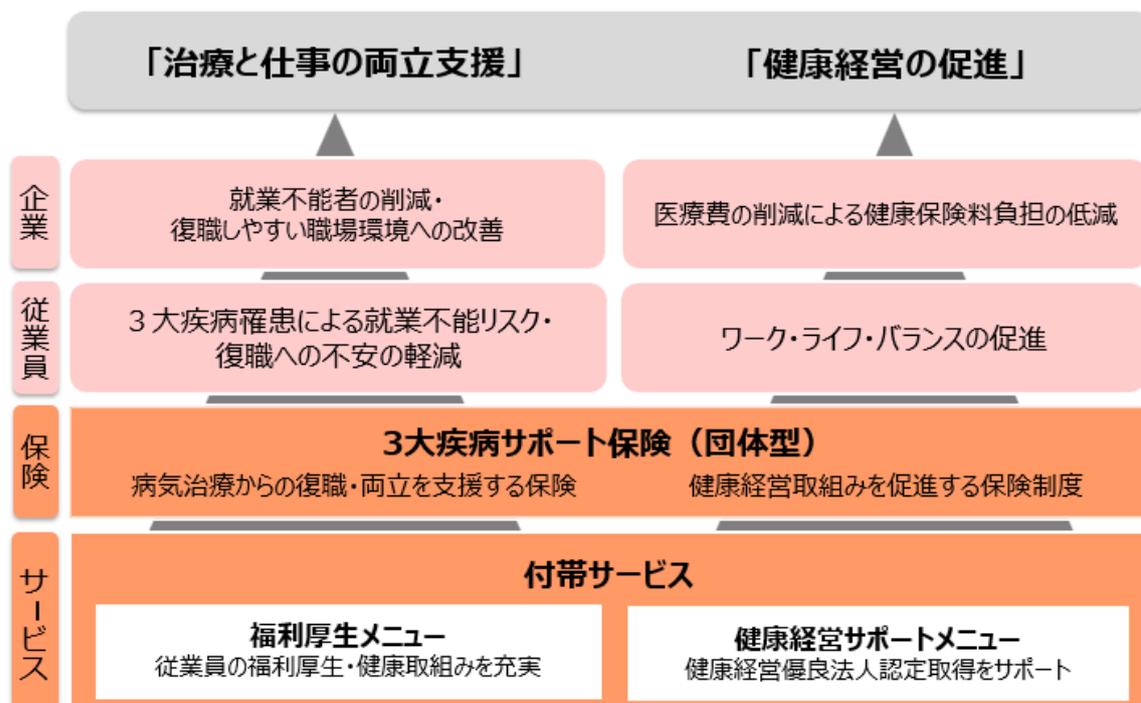
そのような中、当社は、2019年10月に3大疾病による従業員の方の「治療と仕事の両立」や、企業の「健康経営」を支援するための全員加入型の保険として「3大疾病サポート保険（団体型）」を発売し、多くの企業（団体）から好評をいただいています。一方で、「がんの罹患歴のある人が加入できず、福利厚生制度として利用できない従業員がいる」という声もいただいています。

今般、このようなお客さまからいただく貴重な声に寄り添うべく、商品改定をいたします。

また、今回の改定に併せて、より多くの中小企業の人材確保・福利厚生制度充実を支援する観点より、ご契約にあたって最低限必要となる加入者数の引き下げを行います。

当商品により、従業員の方の「治療と仕事の両立」を支援し、企業（団体）の「健康経営の促進」をサポートいたします。当社はこれからもお客さまの多様なニーズにお応えし、企業の成長および従業員一人ひとりのWell-being向上の実現に向けて取り組んでいきます。

<3大疾病サポート保険（団体型）と付帯サービスが目指すもの>



- この資料は2025年7月より改定する商品の概要を説明したものであり、契約にかかるすべての事項を記載したものではありません。ご契約にあたっては「ご契約のしおり-約款」を必ずお読みください。
- 本商品の導入にあたっては、一定の条件があります。詳細は営業担当者までご確認ください。
- 掲載のサービスは2025年4月時点の情報にもとづいて記載しており、予告なく変更・終了することがあります。
- 第一生命の提携先が提供するサービスについては、第一生命が提供するものではありません。サービスの利用にあたって生じた損害について第一生命は責任を負いかねます。
- 「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

(登)C24S6062 (2025.2.20)